

アクレックス 3900 ネオステイン

仕 様 書

和信化学工業株式会社

木 工 塗 料 事 業 部

平 成 年 月 日

アクレックス 3900 ネオステイン

本品は、木目をいかしながら鮮やかな着色塗膜を形成する、VOC1%未満の環境対応型 屋内用 水系着色ステイン塗料です。透明性の高い樹脂と微粒子顔料を使用しており、鮮明で濡れ性に優れ、水系タイプでありながら、油性着色剤のような優れた作業性を持っています。

§ ラインナップ

N - 1 ブラック	N - 8 メープル	N - 14 レッド
N - 2 オレンジ	N - 9 オーク	N - 15 エロー
N - 3 チーク	N - 10 ブラウン	N - 16 ブルー
N - 4 マホガニー	N - 11 クリヤー	
N - 5 チョコレート	N - 12 ホワイト	
N - 6 グリーン	N - 13 ナチュラル	
N - 7 オリーブ		

計16色

§ ホルムアルデヒド放散等級

F (W01299)

§ 特 長

VOC1%未満の水系タイプで、取り扱いが安全・安心です。

作業性は油性着色剤並みに優れ、刷毛が固まりにくくなっています。

木材への浸透性が良く、導管への流れ込みも良好です。

透明性が高く、鮮明でオイルフィニッシュ風の仕上がりになります。

塗膜には防カビ効果があります

§ 用 途

壁、天井、腰板 等 屋内の木部全般への塗装

§ 使用方法

1. 原液のまま塗装できます。淡色にしたい場合には、N - 11 クリヤーで希釈して下さい。水で希釈することもできますが、塗膜の肉持ち・光沢が落ちますのでご注意下さい。
2. 塗膜の摩耗・色取れ等を気にする場合には、ネオステインで着色後、その上にクリヤー塗料を塗装する事で更に強靱な膜を形成できます。

§ 塗料性状

外 観	各色液体	
粘 度	12 ± 2秒	4フォードカップ/25
密 度	1.05 ~ 1.08 ± 0.02	ウェイトカップ/25
不揮発分	24.7 ~ 30.1%	計 算 値
凍結安定性	異状なし	- 15 ~ 室温 5サイクル
保管安定性	異状なし	50 1ヶ月

§ 乾燥性目安 塗布量 40 ~ 60g / m² 気温/湿度 20 / 60%

塗り重ね時間 3時間 ~ 4時間 (ナラ材合板塗装)

条件によって乾燥状況は変わりますので参考として下さい。

§ 塗膜性能

項 目	結 果	条 件	備 考
耐酸性		5%酢酸水 24H スポット	カバ合板2回塗り (乾燥7日後試験)
耐アルカリ性	×黒変	5%炭酸ナトリウム水 24H スポット	
耐水性		水道水 24H スポット	
耐アルコール性		60%エタノール水 24H スポット	
耐溶剤性	- ×	塗料用うすめ液 24H スポット キシレン 24H スポット ラッカーシンナー 24H スポット	
耐マジック性	黒 × 赤 ×	24H 後ベンジンふき取り	
耐クレヨン性	黒 - 赤 -	24H 後ベンジンふき取り	
耐インキ性	黒 × 赤 ×	24H スポット	
耐湿熱性		300ccビーカー沸騰水 15分	

§ 各種上塗り塗料のネオステインへの密着性

上塗り塗料	研磨なし
アクレックス 3300 ウッドシーラー	
アクレックス 3350 サンディング	
アクレックス 3500 フロア	×
アクレックス 3520 2液フロア	
アクレックス 3550 白木	
アクレックス 3600 アク止めシーラー	
ワシンエコフロア	×
ワシンエコフィーバーラック	×
ワシン Non-TX ラッカークリヤー	
ワシン Non-TX ウレタンクリヤー	

アクレックス 3900ネオステイン塗布(1回塗り又は2回塗り)翌日、各種上塗り塗料の塗布(拭き取りや研磨なし) カバ合板 1週間後クロスカット後ゼロテープ剥離

これは実験室におけるデータであり、実際には素材、塗布量、塗り重ねる時間、その他の条件で変わることがありますので参考として頂き、事前のチェックをお奨めします。

アクレックス 3500フロアを上塗りする場合は、アクレックス 3400木部用ウレタンクリヤー等を挟んで、研磨後に塗装して下さい。

§ 塗 装 工 程

1. ステインしっとり仕上げ(例)

工 程	使 用 塗 料	乾燥時間	塗 布 量	備 考
素地調整	P150サンドペーパー			
1 回 目	アクレックス 3900ネオステイン各色	3～4時間	40～60g/m ²	刷毛塗装
2 回 目	同 上	一晩養生	40～60g/m ²	刷毛塗装

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。又、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

ケバ取りが必要な場合には、色落ちしない程度にP320 サンドペーパーで研磨して下さい。

色が取れた場合には、2回目塗装前にタッチアップして下さい。

2. 耐久性重視塗膜仕上げ(例)

床など、良く触れる場所への塗装等、色落ちを気にする場合にはこの工程をお奨めします

工 程	使 用 塗 料	乾燥時間	塗 布 量	備 考
素地調整	P150サンドペーパー			
1 回 目	アクレックス 3900ネオステイン各色	3～4時間	40～60g/m ²	刷毛塗装
2 回 目	アクレックス 3400木部用ウレタンクリアー	2～4時間	80～100g/m ²	刷毛塗装
研 磨	P320サンドペーパー			
3 回 目	アクレックス 3400木部用ウレタンクリアー	一晩養生	80～100g/m ²	刷毛塗装

塗布量は素材の吸い込み具合により大きく変わります。又、乾燥時間は塗装状況により変わりますので目安として下さい。

色が薄い場合にはステインを2回塗りして下さい。

アクレックス 3405木部用ウレタンフラットを使用することで、艶消し仕上げにもできます。工程を短縮する場合は上塗りを1回塗装にできますが、肉持ち感は少なくなります。

§ 使用上の注意

使用前には振り混ぜてください。特にホワイトは顔料の沈降量が多いため、よく振り混ぜてください。

容器にあけた塗料は、使用しない時にはフタをして下さい。フタをしないと固まりやすくなります。また使用後保管の際には密栓をして下さい。

原液のまま塗装できますが、淡色にしたい場合にはN - 11 クリヤーで希釈して下さい。水で希釈することもできますが、塗膜の肉持ち・光沢が落ちますのでご注意下さい。又、水での希釈は色顔料の沈降を早めますので、よく混ぜながら使用して下さい

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。上塗りの養生時にはゴミの付着には注意して下さい

塗膜性能が充分に出ないうちに水がかかると、塗膜が溶けたり跡が残ったりすることがありますのでご注意下さい。

低温時は造膜性が悪くなり、満足な塗膜性能が得られないことがありますので気温5℃以下での塗装は避けて下さい。又、換気を良くして作業して下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は乾かぬうちに水でよく洗って下さい。一旦乾くと水では落ちませんのでご注意下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川、下水に流さないで下さい。

作業は眼鏡・手袋・エプロン等の安全保護具を着用し、皮膚に付着した場合は、石鹼水でよく洗い流して下さい。

目や口に入った場合は多量の水で洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。

本品は水系塗料でありますので、極めて低温時には凍結しますが、解凍すれば問題ありません。しかし、できるだけ凍結させぬようにご注意下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。